

山行報告書

作成:2006年5月3日

愛知岳連 岡崎山岳会

| | | | |
|--|---------------------|--------|--------------|
| 山名[山域] | 池口岳(南アルプス最南部) | 目的[方法] | 南アルプス最南部を味わう |
| 期間 | 2006年4月29日(土)30日(日) | 形態 | 登山口テント泊 |
| 参加人数 | 4人 | | |
| 行動記録: 3/4(土) 曇天、 岩津市民センター(14:00) = 153号 = 売木 = 遠山郷道の駅(16:45) = 池口岳登山口(17:00) 登山口のダートの道でタイヤがパンク。登山を断念。 3/5(日) 晴天 自主登山 | | | |
| 日誌: 登山口に泊まるということで、岩津を少し早めに出発した。ベテランと新人の4人の山行きである。(K 新人はなかなの兵であります。気力も体力も)車は順調に走り、三河の平地では終わったさくらの花が奥に進むにしたがって見られ、辺りの木々も芽吹き始めていた。文字どおり「山笑う」美しい様相を呈していた。 ここまでは順調すぎるぐらい順調であった。道の駅から登山道に向かう。途中登山道を選択するのに神経を使う。CLの長年の経験から、迷うこともなく急勾配の登山道に入る。道は舗装が終わりざれ道になる。車を少し加速するがうまく進まない。車を降りて見ると、右前輪タイヤのサイドに大きな裂擦過傷。空気が完全に抜けている。登山を断念。スペアタイヤに換え、岐路に着く。ヘヤピンカーブの途中にある展望台の東屋近くにテントを張り泊まる。夜、CLの星を見る講座が開かれた。とても星がきれいであったが、夜中、ヘヤピンカーブでスピンの練習をする暴走族に安眠を妨げられた。 | | | |
| 感想: 夕暮れ前に登山口についたため、タイヤの交換も明るいうちに出来たことが幸いした。スペアのタイヤが頼りなげであったが、持ちこたえてよく走ってくれた。自分の車のタイヤ交換を出来るようにしておかねばと思った。 | | | |